

I. 審議事項

第1号議案 2023年度事業報告承認の件

2023（令和5）年度事業報告（総括）

2023年度は、コロナがインフルエンザと同等に第5類感染症移行し、コロナ禍で自粛していた行事も全て実施することができました。

年度制講座、特別短期講座、懐徳堂記念会協力講座、オンライン講座、公開文化講座で1,043名の受講生を迎えましたが、厳しい予算でのスタートの為、事務の効率化を図り予算の執行に取り組みました。新たなインボイス制度の理解を深めるための説明会（税理士）を実施しました。

講座企画、募集関連の作業を例年より早めのために余裕を持った募集活動ができましたが、一方で応募者の学科の偏り、本科の定員割れの現象は来期に向けての課題が残りました。

また、初心に戻り、11周年記念行事をONCC設立当初の茨木市クリエイトセンターのホールにて実施し多くの会員の方にも参加して頂きました。

今期の活動報告（総括）

- 1 総括部門は1,000名を超える受講生を迎え講座運営部門のスタッフも増加し、業務量が増大しましたが、部門間の連携強化により迅速な事務処理対応ができました。
- 2 講座運営部門は、各部門・各部との連携強化とスキルアップのため理事・CA合同宿泊研修を実施しました。期末には12期のCA候補のために2日間の研修を実施し、併せてCAの自己研鑽のために他学科への研修参加を可能にしました。
- 3 渉外・広報・活動地域推進部門では、後援を頂いている各行政の催しに参加し、また、日々の活動を迅速にHP・フェイスブック等に掲載し、ONCCのPRに寄与しました。
 - (1) 地域活動推進部は、NOC Sと連携して地域の子どもと高齢者の居場所事業を開催しました。
※NOC S：「北大阪コミュニティスクール」 当法人と「認定NPO法人つながるいのち」が協定を締結し設立、地域の子どもと高齢者の居場所づくりを運営
昨年同様に子ども起業体験スクールを実施し、キッズモール（販売事業）はとよなか起業チャレンジセンターと共催で実施しました。その他各地域の催しに、積極的に参加しました。
また、歩こう会例会は予定通り隔月実施することができました。
 - (2) 広報部はHPをスマホでも閲覧できるように改善しました。
 - (3) 渉外部では、教室確保と募集活動に付随する後援名義申請、募集要項配布・管理等広報活動を重点的に実施しました。
- 4 IT情報管理部では、管理台帳作成、NASの利用により部門間の情報共有がスムーズになりました。また、フェイスブック利用者も増えてきました。
- 5 新規事業としてシニアハウスへの出前講座を実施しましたが継続的な実施には至らず、今後に向けて課題を解決していく上で人材確保は必須です。
- 6 中期計画委員会ではコロナ禍後の社会情勢の変革に伴い見直しが必要となり全体的な纏めに至りませんでした。

以上